

今週のモーニングセミナー報告

令和4年3月23日(水)の講話 <第885回>

テーマ：命の元

講師：徳島県倫理法人会 女性委員長 井坂朋美 様

飯塚先生のお陰です。小学生の時に母に暴力をふるう父、妹、弟三人兄弟。そのまま突然いなくなり、半年しても帰ってこなかった。残されたアルバムの父の顔だけ切り抜かれていた。母の生活も荒れていた。両親に裏切られ、そういう生活、家族は生きる価値のない人間。母のおなかが大きくなり妹が生まれ、更に生活が苦しくなる。親戚の家を兄弟はたらい回しされ、学校も行かせてもらえず、いつか捨てられると思って、来た道の電信柱に印をつけていた。2、3日平気で帰ってこなくなり、明日遠足がある日にお弁当が無いので行けなかった。その時死にたいと思った。家の家財道具は少しずつ無くなり、一番下の妹は施設に預けられ。妹を探して団地のごみ置き場を見て回る。「しょうがないだろう～」と平気で言う母を今でも忘れられない。母も結局男の所へ行ってしまふ。マチ金の男の人が来て9才(私)8才(妹)6才(弟)に二千元を貰う。「これでなんか食わしてやれ～」と。本当に悔しくて親に対する憎しみが増す。母方の祖父母に預けられ、厄介者扱い、「お前らの為に結婚も出来ん～」と叔父に云われ。お代わりすると睨まれ、蹴ったりされる。男の人からずーっといじめられ、叔父に対しても男の人に対して怒りと殺意が湧く、小学時代。13才中学時代にはヤクザと付き合い傷害事件。生徒指導の先生だけは私を見放さなかった。鑑別所での生活、祖母は食堂の皿洗い、裁判所で描き崩れていた。少年院で反省の時。「近所にカッコ悪いから出ていけ」と言われ、手には50円しかなかった。自転車を盗んで先輩の所へ、先輩の母は売春婦、でも面倒を見てくれた。高松から徳島に帰る前、先輩から餞別の3万円を貰った。その後のバツイチの人と結婚、離婚そして倫理との出会い。万人幸福の葉を読んで鳥肌が立った。飯塚先生との出会いと倫理指導で初めて人の話を聞いてくれた。その後大学卒業後、教師をしている弟の話。

担当者：赤山 芳隆

幼少期に両親の激しい夫婦喧嘩を見た記憶、親に見捨てられた話、親がした借金を取り立てに来た消費者金融のお兄さんが2千円をくれたこと、その後親戚の家を転々として厄介者扱いされた話、親を憎んでいたこと、どれも壮絶な話でびっくりしました。そんな中でも兄弟離れるのが嫌だったという兄弟愛の話をされました。世間にも迷惑をかけたが助けてくれた先輩が何年か経つととても変わっていたこと、多くの苦難を乗り越えてきたのが分かる話でした。そして倫理法人会に入会。倫理指導を受けたりもしたが、いまいち納得できることがなかったが、飯塚さんとの出会いが井坂さんにとって、大きなターニングポイントだった話をされました。やはり出会いを大切にしていきたいと改めて思いました。これからも変わっていく姿を見てほしいと話されたのが印象に残りました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは3月30日(水)朝6:00~7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「今、このお役をいただいて」と題しまして香川県倫理法人会 副幹事長 川畑里佳 様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 9 社 9 名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp